

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

鯖江市地域公共交通活性化協議会 (鯖江市)

平成27年4月1日設置

令和3年9月24日 令和4年度フィーダー系統確保維持改善計画策定

令和3年12月 鯖江市地域公共交通計画 および
鯖江市地域公共交通利便増進実施計画 策定
(計画期間：令和4年4月～令和8年3月)

令和4年9月28日 令和5年度フィーダー系統確保維持改善計画 認定

令和5年2月17日 第三者評価委員会にて令和4年度自己評価内容 発表

令和5年12月 令和5年度自己評価結果送付

◆豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境

【鯖江市の概要】

人口：68,390人（R5.12.1時点）
 鉄道：JR北陸本線（市内に2駅）
 福井鉄道福武線（市内に6駅）
 バス：コミュニティバス つつじバス
 （循環線1,支線8）
 路線バス（福井鉄道）
 （2路線3系統）

【鯖江市地域公共交通計画】

計画期間：令和4年4月～令和8年3月（5年間）

【目指す姿】

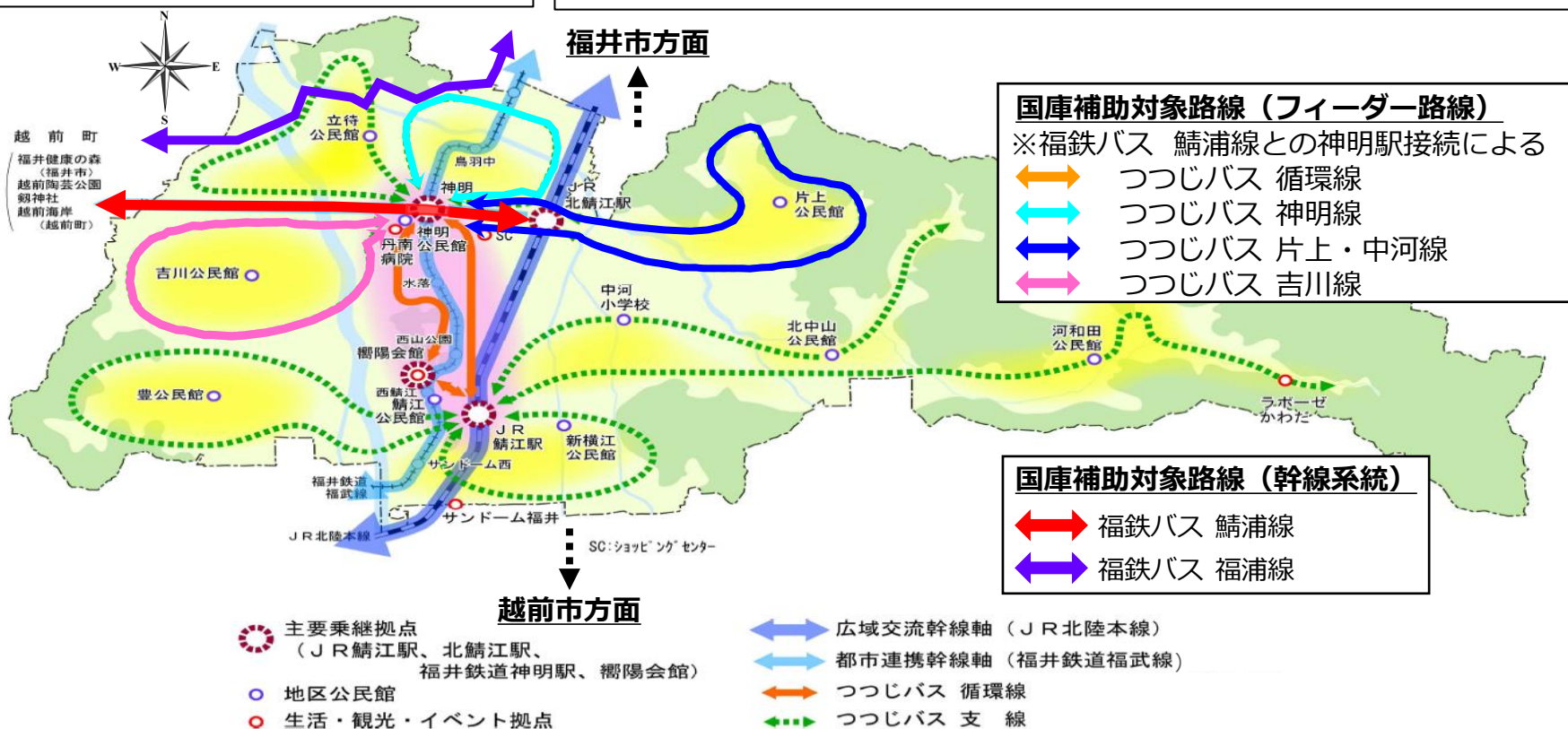
車がなくても、公共交通を利用して日常生活に必要な移動ができる

【計画期間内の重点事業】

つつじバスの再編/運行 ⇒ 令和4年4月実施

【令和5年度の方針】

再編したつつじバスのダイヤ定着および愛着醸成による利用者増加



実 施 状 況

1. 昨年度に行った主な取り組み

① R4.4 コミュニティバスの再編

【再編内容】

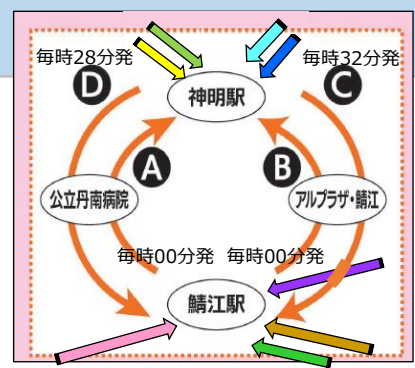
- ・ 市内循環線を1周60分のパターンダイヤ化
- ・ 各地区路線も1周60分以内に路線再編し、市内循環線との接続性確保
- ・ 一部の地区路線にて速達便を設け、市内中心部への移動の速達化実現

→ 再編前と比較して利用者数は増加傾向であり、再編後のダイヤが定着してきている。

② 中型バス車両更新に合わせた新車両デザインの導入

- ・ 過去に車両デザインを行っていただいた大学に新デザインの作成を依頼

→ コミュニティバスへの興味を持ってもらうきっかけ作りとなった。



2. 今年度に行った主な取り組み (一部継続含む)

③ 高齢者サロンへの出前講座実施 (継続)

- ・ 各地区路線から循環線への乗継ぎ利便性が向上した点について、丁寧に説明を実施。

④ SNSを活用した情報発信の開始 (新規)

- ・ InstagramおよびXを活用したコミュニティバスの情報発信を開始

→ 幅広い年代層に向けたコミュニティバスへの周知、市外の方に向けてもSNSを通して市のPRに繋がる。

⑤ バス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして活用 (新規)

- ・ 市内イベントでコミュニティバスに関するブースを出展し、来場者(主に親子連れ)にバスの塗り絵を描いてもらい、夏休み期間にバス車内に掲示

→ 一度コミュニティバスに乗ってもらうきっかけ作りの創出。

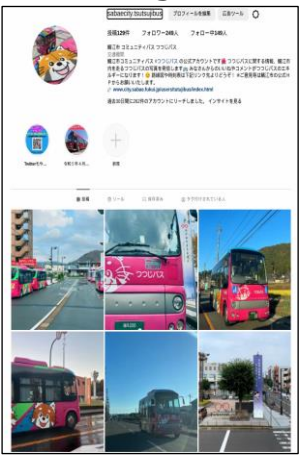


具体的な内容

④ SNSを活用した情報発信の開始 (新規)

Instagram

X(旧Twitter)



Instagram

- 市内を走るバスの写真投稿
- ➡ コミュニティバスに親しみを感じてもらおう

X(旧Twitter)

- 工事に伴う迂回やバス停休止情報などの投稿
- ➡ バス停に行かなくても情報を得られる



バス車内に
チラシを掲示し
SNSサービスの
周知実施中

媒体によって主な投稿内容を変更することで、幅広い利用者層へのコミュニティバスのPRを実施
⇒ 既存ポータルサイトに並ぶ情報発信プラットフォームの構築

⑤ バス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして活用 (新規)



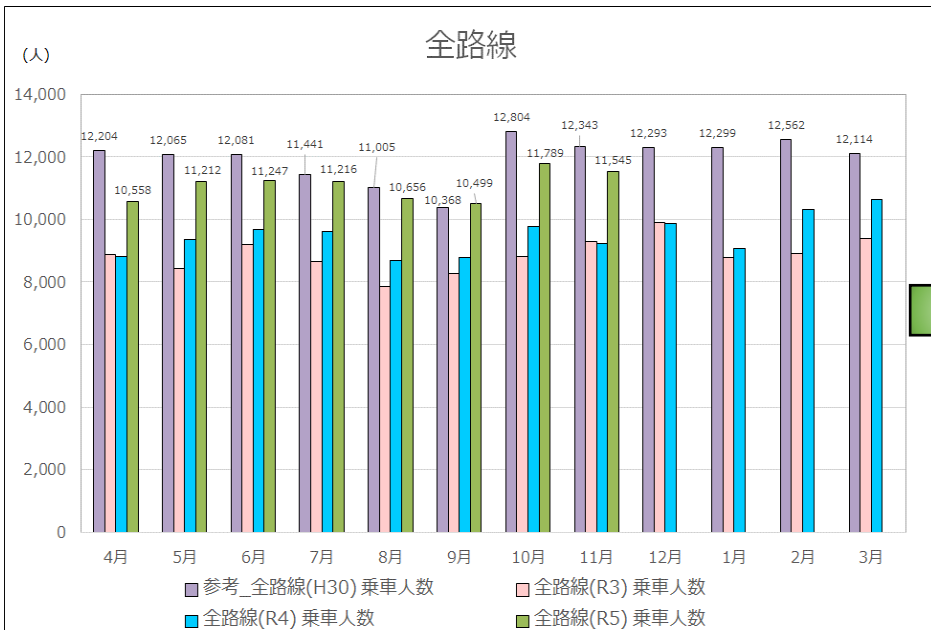
R5.6.18 さばえ環境フェアに公共交通を知ってもらうためのブースを出展
来場者に対してコミュニティバスの概要説明を行い、バスの塗り絵を子供向けに実施
描いた塗り絵は夏休み期間(7月中旬から8月末)にバス車内に掲示
家族揃って一度バスに乗ってもらうきっかけ作りとなる取組みとなった

来年度以降も
規模を拡大して
継続予定

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察 (1/2)

評価指標・現況値・目標値			達成状況					考察
			1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	5年目 (R8)	
つつじバス 年間利用者数	14.4万人 (H30年度)	17万人 (R8年度)	113,806人 (R4.4～ R5.3)	88,722人 (R5.4～ R5.11)				R4.4に実施したダイヤ改正内容の定着、循環線のパターンダイヤ化、各地区路線と循環線の接続向上を図ったことから利用者数は増加傾向。(対前年度比120%で推移) 参考値：R3年度実績 106,351人
福井鉄道福武線 市内駅利用者数	47.4万人 (H30年度)	50万人 (R8年度)	428,515人 (R4.4～ R5.3)	225,063人 (R5.4～ R5.9)				市内主要駅を基点としたイベントの開催およびつつじバスダイヤ改正時に電車との乗継ぎ改善を行ったことにより利用者数が徐々に回復傾向。(対前年度比105%で推移) 参考値：R3年度実績 407,237人
利用者1人 あたり 公的資金投入額 (つつじバス)	552円/人 (H30年度)	540円/人 (R8年度)	847円/人	未測定				年度途中のため未測定。人件費高騰および運行委託にかかる費用が増幅したことから、目標に対して大きく未達。利用者数は増加傾向のため、1年目よりは下がる見込み。
公共交通が充実 していると感じ ている人の割合	58.7% (R1年度)	80% (R8年度)	未測定	未測定				計画期間がR4年度からR8年度までであることから、中間年(R6年度)および最終年度(R8年度)にアンケート調査を行う。
公共交通集落 カバー率	95% (R3年度)	97% (R8年度)	96% (R4.4時点)	96% (R5.4時点)				R4.4のつつじバス再編に伴い、路線の組み替えおよび新規バス停を設置したため、現況値より向上。R5年度はR4年度と同様の路線のため、カバー率変動無し。
つつじバスポータルサイト(バスどこサービス)アクセス数	15.7万回 (H30年度)	16万回 (R8年度)	147,504回 (R4.4～ R5.3)	65,778回 (R5.4～ R5.11)				R5年度についてはダイヤ改正が無かったこと、最も利用者が多い循環線をパターンダイヤ化し、利用者にダイヤの定着が図られたことからアクセス数が減少したと想定。 参考値：R3年度実績 126,936回
公共交通利用促進の市民団体の活動回数	12回 (H30年度)	15回 (R8年度)	6回 (R4.4～ R5.3)	6回 (R5.4～ R5.12)				駅を中心としたイベントを開催し、親子で一度公共交通を利用してもらう取組みを行い、公共交通のPRを実施した。(今年度残り見込み+2回予定) 参考値：R3年度活動実績 3回

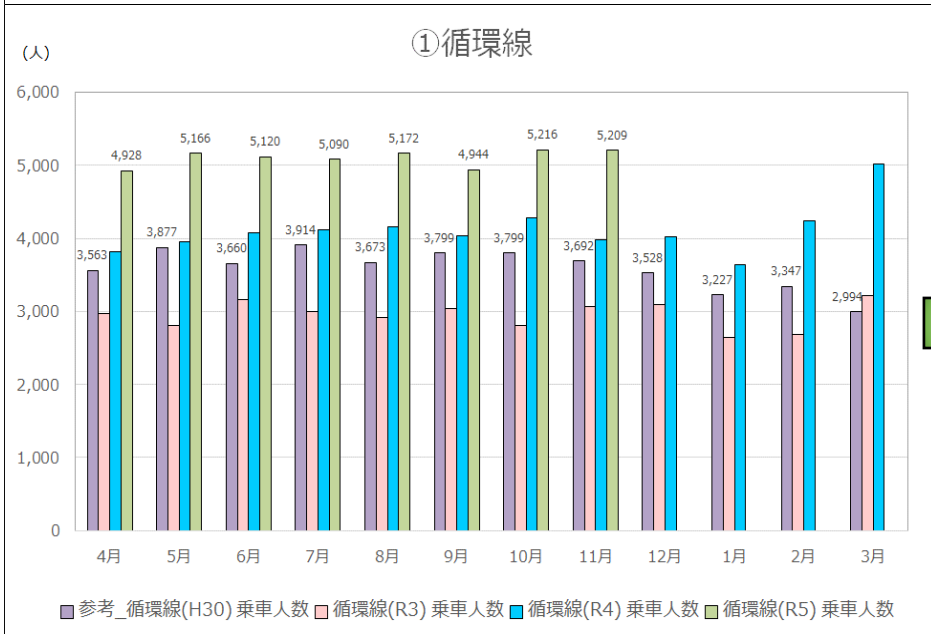
コミュニティバス つつじバス利用者実績 (H30~R5)



R4.4に再編を行った新しい路線およびダイヤが徐々に定着をしてきており、ほぼ全ての路線において、増加傾向となっている。

再編前のR3年度比で再編後のR4年度は107%
R4年度比でR5年度については120%で推移中

このペースで推移すると年間13.6万人を超える利用者となっており、H30年度水準(14.4万人)にはまだ届かないが、コロナ禍前のR1年度水準(13.7万人)に届く勢いである。



- ・循環線のパターンダイヤ化
- ・各地区路線との接続拠点での接続性向上

上記2つの再編を実施したことにより、再編前のR3年度を大きく超える水準でR4年度およびR5年度は推移。コロナ禍前のH30年度も超える水準である。

〈主な利用者の声〉

- ・パターンダイヤ化により時刻表を見なくても分かりやすいダイヤになった。
- ・1周60分となったので、目的地の施設で滞在できる時間が分かりやすくなった。
- ・地区から出てきて、市内中心部の施設に行きやすくなった。

評価指標	計画目標の現在の到達地点	今後の取組方針
つつじバス 年間利用者数	R4.4に路線再編を行い、R4年度の実績は再編実施前(R3年度)と比べて127%ほどで推移している。R4年度と比較してもR5年度については120%ほどで推移しており、このままのペースでいくとコロナ禍前の水準に届く見込み。ただし、最終年度の目標に対しては未達の状況である。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスに対して親しみをもってもらうことを目的に<u>来年度更新する車両についても車両デザインの変更、バス停看板デザインについてもデザイン一新</u>をすることで愛着醸成を図る。 ・市内温浴施設3カ所との提携を図り、相互の利用者数増加を図る。 ・<u>市内循環線と各地区路線の接続性が向上した点の更なる周知を行うため、接続のモデルルートが書かれた回覧物を地区毎に配布。</u> ・北陸新幹線敦賀開業に伴う(株)ハピラインふくいの鉄道新ダイヤとの接続調整。 ・<u>地区路線の一部でフリー降車制を実証的に実施</u>し、利用者からの意見の吸い上げを実施する。 <p>→ 新規利用者層の獲得を行うとともに、既存ユーザーの利便性を損なわないことを第一に利便性向上策も合わせて実施し、目標年度（R8年度）の目標達成を目指す。</p>
福井鉄道福武線 市内駅利用者数	コロナ禍から徐々に回復傾向であるが、依然としてR8年度目標にはまだ遠いため、利用者が駅に集うような対応が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度においては、市内駅を中心とする「神明駅」を会場とした鉄道利用者(切符購入者)が楽しめるイベントを行い、来場者数約2,000人が訪れ周辺飲食店を含めた活性化を生むことができた。来年度については今年度のイベントをアップグレードした形で市内駅6駅それぞれを会場としたイベント開催を行い、回遊性を生み、鉄道利用者数を増加させる取り組みを実施する。 <p>→ 目標年度（R8年度）の目標達成に向けて利用者が増加に繋がる促進策を1つ1つ実行していく。</p>
利用者1人 あたり 公的資金投入額 (つつじバス)	公的資金投入額減に向けて、広告料収入の増加によるカバーが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・広告料収入の増加に向けて、広告事業の詳細についてHP等でも広く周知を行う。また、毎日運行を行っているつつじバスを活かすため、新たな広告の種類として<u>車両ラッピング広告をR6年度中に設け、募集を開始する予定</u>である。 <p>→ あわせて利用者増加促進策にも力を入れることで、1人あたりの公的資金投入額目標達成を目指す。</p>

評価指標	計画目標の現在の到達地点	今後の取組方針
公共交通が充実していると感じている人の割合	-	地域公共交通計画に定めた事業実施のスケジュールを滞りなく行うことで、目標年度(R8年度)の調査での目標達成を目指す。
公共交通集落カバー率	つつじバス再編に伴う新規バス停設置により、目標達成が見えてきている。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後再編した路線で運行していく中で、主に路線上で設置の要望が各地区からあった場合は前向きに検討する。R5年度については1件、町内から既存バス停の移動要望があったため、内容を精査した結果、R6年度にバス停の移動を行う見込みである。 <p>→ 上記の対応により、利用者の利便性向上および公共交通集落カバー率向上を図り、目標年度(R8年度)には目標値を達成する見込み。</p>
つつじバスポータルサイト(バスどこサービス)アクセス数	アクセス数を測定するGoogleアナリティクスの集計方法が変わってしまったため、アクセス減少。ただし、ポータルサイトの使い方についての問合せが増えてきており一定の手応えを感じている状況。	<ul style="list-style-type: none"> ・若年者に向けては、新たなSNS(Twitter・市公式LINE・Facebookなど)を利用したバス情報の発信により、サービスの周知を図る。 ・現在行っている高齢者サロンに向けた<u>出前講座の資料を一部変更し、ポータルサイトの見方や利用の仕方を紹介する資料を差し込んだ。</u>引き続き、来年度についても高齢者サロンを通じてポータルサイトの周知を図る。 <p>→ 目標達成年度(R8年度)に向けて着実に利用者数増加を目指す。</p>
公共交通利用促進の市民団体の活動回数	公共交通促進のPR対象が主に電車になってしまっており、バス等のPRが足りていない課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施したバス塗り絵コーナーを引き続きイベント時に設け、親子連れを対象に公共交通への意識醸成を図る。描いてもらった塗り絵等の作品は夏休み期間にバス車内に掲示することで、利用者促進策としても活用する。来年度については、乗車してもらうきっかけとして強く働きかけるため、塗り絵等を描いてもらった来場者に対し、バスの乗車券配布等もあわせて検討する。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回 (令和3・4年度)	<p>地域公共交通計画の各種取組事業を着実に進められるとともに、事業の進捗管理し、計画の目標、実施内容、実施結果に関する評価・分析を通じ、必要に応じ見直しを検討するなど、目標達成に向け取組を進められることを期待します。</p>	<p>事業の実施スケジュールに沿って、事業を進めていけるよう、年間の協議会運営スケジュールに基づいてPDCAサイクルを回している。令和5年度については、車両デザインをマイナーチェンジを行った中型バス1台の更新を行った。また、新たなSNSを利用した情報発信をInstagramおよびXにて開始した。</p>	<p>令和6年度に向けては、中型バス同様、車両デザイン更新を含めた小型バス5台の車両更新を実施するとともに、市内温浴施設との提携による新たな利用者獲得、北陸新幹線敦賀開業に伴う並行在来線鉄道ダイヤの変更によるバスダイヤの一部調整、地区路線一部エリアにおけるフリー降車制の実証実験の実施による利用者からのフリー降車制に対しての意見収集、市内高校のデザインコースの学生と協働でバス停丸看板デザインの新しいデザインを作成し、市内にある約290カ所の全バス停看板の変更を行う。これらの事業実施を通じ、利用者利便性の向上および更なる愛着醸成を図る。</p>
	<p>市内を運行する地域間幹線系統のうち、輸送量が低迷している系統(特に鯖浦線、福浦線)について現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有するとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け、県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。</p>	<p>県主導の「生産性向上に向けたWG」に参加。各系統の実状を把握するとともに路線沿線市町の利用者促進策について共有を行った。コミュニティバスのダイヤ改正を行う際、可能な限り乗継ぎができるようにダイヤの調整の実施を行った。あわせて、地域間幹線系統を運行している事業者が実施しているお得な制度について、市のHPへの掲載、市役所内にチラシの設置を行うことで利用者への周知を図った。</p>	<p>コミュニティバスとの接続状況などについて市民に向けてHP等にて周知を行い、利用者数増加を図る。</p>

※前回：令和5年3月10日


年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回 (令和3・4年度)	<p>循環線ダイヤは支線との接続を重視しているとのこと。各路線の重視しているポイントを含め広く利用者に知ってもらうことも重要であるため、この点を踏まえた今後の周知活動に強く期待します。</p>	<p>循環線の利用者が毎月増加傾向であることから、支線と循環線の接続については既存利用者には周知ができたものと考えている。</p> <p>令和5年度についても昨年度同様、高齢者サロンに出向き、出前講座以内でその地区・町内におけるバスの効率的な利用方法について説明を行った。</p>	<p>今後については、出前講座の中でR4.4に路線改編および地区路線と循環線の接続性向上についてそもそも知らない高齢者の方が多い印象を受けた。</p> <p>接続性の向上が図られたことを知らない層・バスに乗ったことがない層に対して、各地区路線が重視しているポイントや地区路線から循環線への接続モデルルートの周知が広く出来ていないことから、地区毎(各町内毎)への班回覧物の配布についても実施していくことを検討している。</p>

※前回：令和5年3月10日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回 (令和2・3年度)	<p>地域公共交通計画等に沿って各種事業を着実に進められるとともに、事業の進捗管理についても併せて取り組まれるようお願いいたします。</p>	<p>事業の実施スケジュールに沿って、事業を進めていけるよう、年間の協議会運営スケジュールに基づいてPDCAサイクルを回している。</p>	<p>つつじバス車両の更新については、R4年度中に中型バス1台の更新、R5年度以降については小型バスを順次更新していく予定である。あわせて、車両の更新にあわせて車両デザインのマイナーチェンジを行うことで話題性の確保を行い、つつじバスへの愛着醸成を図る。また、つつじバス1日フリー乗車券の導入、SNSを利用した情報発信もR5年度中に順次開始していく予定で進めている。</p>
	<p>地域公共交通計画の目標、実施内容、実施結果に関する評価・分析を定期的に行うとともに、必要に応じた見直しを進められることを期待します。</p>	<p>R4.12の協議会にて自己評価報告を行った。</p>	<p>協議会において随時報告を行うとともに、必要に応じて委員の方々の意見を聴取しながら、必要に応じて見直しも検討していく。</p>

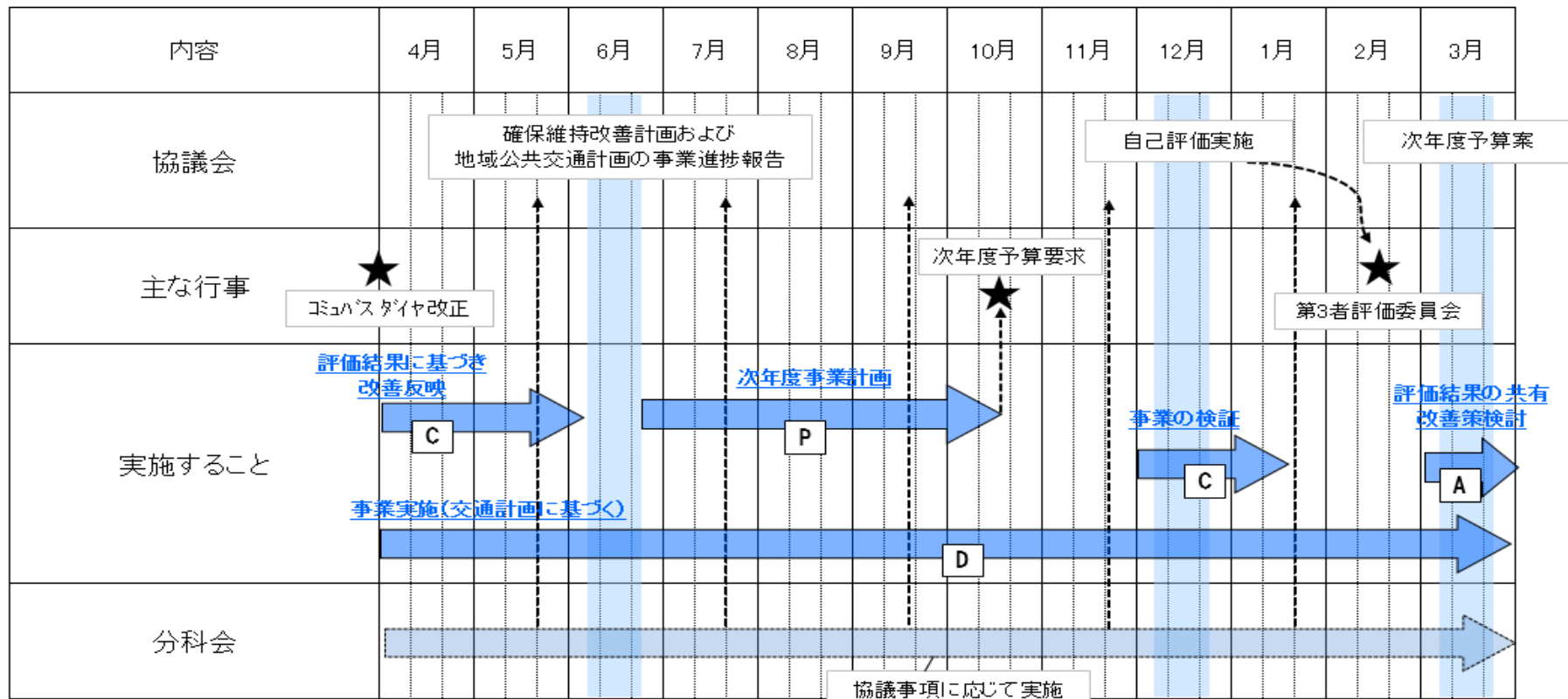
※前々回：令和4年3月10日

5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況（4/4）

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回（令和2・3年度）	<p>令和4年4月に予定される、市内交通の見直しに際して、利用者の混乱を招くことがないよう、運行ダイヤ等の周知徹底をお願いします。</p> <div data-bbox="227 554 691 901"> <p style="text-align: center;">抜粋</p> <p>乗継ぎ早見表 各地区路線便⇄橋本線 の乗継ぎ(主な乗り継ぎ方を抜粋しております。)</p>  <p>この図表は、橋本線と各地区路線便の乗継ぎ時刻を示しています。乗継ぎ早見表の抜粋として、橋本線と各地区路線便の乗継ぎ時刻を示しています。乗継ぎ早見表の抜粋として、橋本線と各地区路線便の乗継ぎ時刻を示しています。</p> </div>	<p>全路線図およびそれぞれの路線においてどの部分が改正になったのかを具体的に明示して市のHPに掲載した。市の広報の見開きページ特集にて、つつじバスのダイヤ改正についての掲載を実施した。</p> <p>また、広報と合わせて携帯型時刻表を挟み込み全世界に新ダイヤの時刻表を配布した。</p> <p>市内の主要施設(商業施設・公民館・温浴施設・駅等)にも時刻表をあらかじめ設置するとともに、R4年度版の時刻表には巻末に乗換え早見表を掲載することで、新しいダイヤへの変更による混乱を最小限に抑えるように努めた。</p> <p>あわせて新ダイヤの定着が早期に図られるように市内各町内にある高齢者サロンへの出前講座を継続的に実施し、どの部分がダイヤ改正で変わったかを資料を用いて丁寧に説明している。</p>	<p>引き続き高齢者サロンへの出前講座にを継続的に実施し、利用者方々に対して新ダイヤが定着するようにフォローを実施する。</p> <p>なお、今後ダイヤ改正を実施する際は早め早めの情報出しを意識して、情報を提供する。</p>
	<p>市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町村・関係事業者と共有すると共に、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。</p>	<p>県主導の「生産性向上に向けたWG」に参加。各系統の実状を把握するとともに路線沿線市町の利用者促進策について共有を行った。コミュニティバスのダイヤ改正を行う際、可能な限り乗継ぎができるようにダイヤの調整の実施を行った。あわせて、県が実施しているおでかけ応援事業（フリーきっぷ半額キャンペーン）等お得な制度について、市のHPへの掲載、市役所内にチラシの設置を行うことで利用者への周知を図った。</p>	<p>コミュニティバスとの接続状況などについて市民に向けてHP等にて周知を行い、利用者数増加を図る。</p>

※前々回：令和4年3月10日

《活性化協議会 年間スケジュール》



【協議会の実施状況】(R3年度)

- 第1回協議会 6/23 主な議題：確保維持改善計画
計画事業の進捗状況報告
- 第2回協議会 9/28(書面) 主な議題：計画策定に伴う補正予算案
- 第3回協議会 11/26 主な議題：コミュニティバスダイヤ改正案
地域公共交通計画案について
- 第4回協議会 12/24 主な議題：地域公共交通計画改訂案について
利便増進実施計画案について
自己評価の報告案について
- 第5回協議会 3/4 主な議題：令和4年度予算案について
ダイヤ改正に伴うフィーダー系統
変更申請

【協議会の実施状況】(R4年度)

- 第1回協議会 5/27 主な議題：確保維持改善計画
自家用有償旅客の運送の運賃改正
- 第2回協議会 12/2 主な議題：自己評価の報告案について
コミュニティバス新ダイヤの運行状況
- 第3回協議会 3/24 主な議題：自家用有償旅客の運送の登録更新
令和5年度予算案について

【協議会の実施状況】(R5年度)

- 第1回協議会 6/26 主な議題：確保維持改善計画
計画事業の進捗状況報告
- 第2回協議会 8/23(書面) 主な議題：RENEW期間中のタクシー会社の一時的な営業区域外運送の実施について
- 第3回協議会 12/27 主な議題：自己評価の報告案について
コミュニティバスダイヤ改正案

■事業の実施スケジュール

目 標	実 施 事 業	令 和 4年度	令 和 5年度	令 和 6年度	令 和 7年度	令 和 8年度
1. 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	(1) 幹線交通の運行 (JR北陸本線(並行在来線)、福井鉄道 福武線、 福鉄バス 鯖浦線、福浦線)					
	(2) つつじバスの再編・運行					
	(3) つつじバス車両の更新					
	(4) 外出支援等のためのタクシーの運行・助成					
	(5) 北陸新幹線へのアクセス手段の検討					
	(6) 多様な輸送資源の活用検討					
2. まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	(7) 主要バス停の待合環境の整備					
	(8) 主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置					
	(9) 運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進					
	(10) 障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者 無料証の交付					
	(11) キャッシュレス決済の導入検討					
	(12) JR鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み					
	(13) つつじバスのフリー乗降制の検討					
	(14) パーク&ライドの利用促進					
3. 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	(15) つつじバスのリアルタイム位置情報表示 「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充					
	(16) レンタサイクルの利用啓発					
	(17) つつじバスの利用料金割引制度 (乗継割引、福井鉄道「ハッピー1日フリー乗車券」との乗継 割引、回数券)					
	(18) つつじバスの利用料金割引制度の拡充 (1日フリー乗車券の導入)					
	(19) 商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付					
	(20) 観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付					
	(21) バス車内への観光パンフレットの設置					
	(22) つつじバス車内を利用した観光案内					
	(23) バス停表示看板のデザイン更新					
	(24) SNSを利用した情報発信					
	(25) 公共交通乗務員の接遇向上					
4. 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	(26) 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進					
	(27) つつじバスの利用促進					
	(28) 自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と 行政による支援					
	(29) 公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信					

■ : 新規事業 ■ : 継続事業
破線 : 検討・調整中 太線 : 実施

■収集するデータと収集方法

計画目標	収集データ	収集方法
<目標1> 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	幹線交通利用者数	・各交通事業者が対象となる公共交通の利用者数を報告
	つつじバス利用者数	・運行便別に利用者数(乗降バス停、利用券種別)を調査
	タクシーを活用した助成事業の利用者数	・事業主管課から利用状況を入手・整理
<目標2> まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	バス停の整備状況	・バス停の整備状況(案内情報含む)を調査し、整備カルテを作成 ・整備カルテにより現状を把握
	広告収入	・車両、バス停、時刻表等の種別毎の広告収入データを整理
	つつじバス利用者無料証交付数	・障がい者、運転免許自主返納者等への交付数の整理
	パーク&ライド駐車場利用状況	・福井鉄道(株)が市内各駅のパーク&ライド駐車場の利用状況を報告 ・JR鯖江駅東口駐車場については、事業主管課から利用状況を入手・整理
	公共交通が充実していると感じている人の割合	・アンケート調査で把握
	公共交通集落カバー率 (鉄道、路線バス、コミュニティバス)	・集落カバー状況を整理
	つつじバスポータルサイト (バスどこサービス)アクセス数	・アクセス状況を整理
<目標3> 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	バス停の情報案内状況	・上記のバス停整備カルテによって、現状を把握
	レンタサイクル利用者数	・事業主管課から利用状況を入手・整理
	つつじバス乗り継ぎ券、回数券の発行数	・乗り継ぎ券、回数券の発行数の整理
	つつじバス学生回数券の発行数	・学生回数券の発行数の整理
	商店街での買い物によるつつじバス無料利用者数	・利用数を整理
	観光施設等の利用によるつつじバス利用者数	・利用数を整理
	SNSを利用した情報発信	・アクセス状況を整理
	公共交通乗務員の接遇向上のための教育訓練の状況	・公共交通事業者が該当する教育訓練の実績を報告
	公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	・市民団体の活動回数を整理
	自治会によるバス停の上屋の設置・管理状況	・本市の助成制度活用状況を整理
<目標4> 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	タクシーに関する情報発信状況	・タクシーに関する情報発信状況を整理